

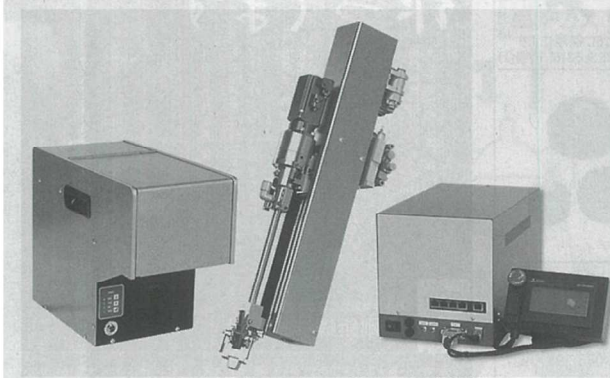
2020年10月17日

# ファスニングジャーナル(5面)に掲載されました

## IoT対応ねじ締結ユニット

### 産業ネット拡張可能の自動組立装置

日東精工株式会社（本社：東京都綾部市、材木正己社長）では、国産初の自動ねじ締め機を開発して以来、自動ねじ締めロボット、ねじ締めドライバをはじめとする様々な自動組立装置の提供をおこない、世界中の組立作業をサポートしてきた。今回、IoTなど産業ネットワーク対応の単軸



IoT対応システムを構成する各種機器

ねじ締めユニットを10月1日より追加発売した。同社の自動組立装置は、IT製品、家電、住宅設備、遊技機など幅広い産業分野で活躍しており、とりわけ厳しい品質や性能を要求される自動車関連業界においても高い評価を得ている。また、同社は工業用フ

アスナー（ねじ）のトック実が一段と進んでいる。しかし、従来のコントローラ（RC750-1T）では、拡張可能な産業ネットワークの種類が限られていることやサーボ制御システムをプログラム構築する上で、PLCのスペックを多く消費することから多様なプログラム追加が難しく、IoTへの対応にも大きな課題がみられた。このような背景から高速・高精度処理可能なPLCを搭載したコントローラ（RC770-1T）を開発し、産業ネットワークの拡充とフレキシブルなプログラム対応を可能にした。製品特長はサーボ降

式単軸ねじ締めユニット（FM513VZ）専用コントローラ。操作盤機能とペンダント機能を併せ持つティーチングペダントを用い、ねじ締め機の動作パターンやねじ締めドライバの設定を柔軟に操作できる。①高速・高精度処理可能なPLCを採用：プログラムステップ数は1500Rステップと十分な容量が確保され、多種多様なプログラム構築が可能。また、PLCソフトウェアの記録・解析機能の活用により、トラブル時のダウンタイム削減に繋がる。②産業ネットワーク

互換を持たせているため、コントローラの交換が容易である。Ethernet / I/Pに対応：近年成長を続けている産業ネットワークのEthernet / I/Pに対応。PCなどの上位機器との通信接続により、RC770コントローラで収集したねじ締めデータを提供することが可能。③従来からのサーボ制御システムを継承：サーボ制御システムを継承しつつ、ティーチング等の操作方法を一部簡略化。RC770コントローラと周辺装置の接続方法は従来機（RC750コントローラ）の接続方法と

価格（税抜き）はFM513VZ+RC770-1Tが142万5千円、ティーチングペンダント（オプション）が九万円。製品構成はねじ締めユニットFM513VZ、ねじ締め機コントローラRC770-1T、ねじ供給装置FE503H、RXドライバ一式、付属品（ケーブル）一式、オプションにティーチングペダントを用意。販売開始日は本年10月1日。目標販売台数は月50台。主要販売先は自動車部品業界、電機メー

カ、自動機メーカー等。

過去の業界ニュースもご覧いただけます。

電子書籍 **ねじ蔵**

ねじ用語事典、輸出入統計...

各種情報も発信中！

株式会社 ファスニングジャーナル



www.nejinews.co.jp

13VZ+RC770-1Tが142万5千円、ティーチングペンダント（オプション）が九万円。製品構成はねじ締めユニットFM513VZ、ねじ締め機コントローラRC770-1T、ねじ供給装置FE503H、RXドライバ一式、付属品（ケーブル）一式、オプションにティーチングペダントを用意。販売開始日は本年10月1日。目標販売台数は月50台。主要販売先は自動車部品業界、電機メー